

【2】議事内容:

- ◎ 敬老会 (位田さん): 9/1招待状発送した。一人1,000円位のお祝い品を進呈する(該当56名) きちっとしたスケジュール/式次第必要 ミサ後に代表の方にお祝い品を進呈する(代表は清水さんご夫妻にお願いする) 該当の方の席は予め設定しておく 祝賀会の会場はお聖堂とする 子供達の余興として、影絵 小谷さんのハーモニカ、森田さんの三味線をお願いする
- ◎ バザー委員会報告(9/1):
  - ◆ 地区センター等周辺にチラシを配布。
  - ◆ 近隣教会のバザー開催日が重なっており、招待する教会は聖母の園(5セット)だけとする。
  - ◆ 食品:
    - ① 婦人会担当: カレー、おでん、お汁粉、クッキーと紅茶
    - ② 壮年会担当: 焼き鳥、焼きそば、焼きイカ、飲み物
    - ③ 聖母の園からポップコーンの機械が借りられるので、婦人会担当で青年会に依頼する。
  - ◆ 委託販売: クッキー、うどん、赤飯、お茶、椎茸、花
  - ◆ 厨房の改善: シンク/ながしをバザー迄に直す。
  - ◆ 消火器の入れ替え: もう13年経過しており、合計7本の入れ替えを実施する。
  - ◆ クリスマスキャロル
    - ◆ 8/31に第3回運営委員会が開催された。
    - ◆ 中和田教会に対して、泉公会堂での受付の主担当に加えて、会場整備も2名出して欲しい旨要請有り。次回の壮年会、婦人会に諮って欲しい。
    - ◆ 各教会の出し物は5分くらい。9月20日までに決めて提出。
    - ◆ 旧約聖書の朗読は中和田が担当するが、これは小野寺先生にお願い済み。
    - ◆ 30名くらいでコーラス(男性が少ない)。
    - ◆ 毎週金曜日7時から練習。
    - ◆ オルガンの貸し出しも協力する。
    - ◆ 収入源はパンフレットの広告代のみ。

壮年会だより

<9月16日(日) 8名出席>

- ◎ 委員会報告(9月度)
  - ◆ 消火器の有効期間が過ぎている(8年~13年)7本全部を入れ替える。
  - ◆ バザーの招待は、聖母の園だけとする。
- ◎ 議案
  - ◆ 10月の聖書朗読 10/7 下村さん 10/28 東原さん
  - ◆ 投稿 橋さん(9/23締め切り)
- ◎ バザー委員会報告
  - ◆ 食品は昨年と同様(ケーキ、紅茶の数量を減らす)
  - ◆ 備品の検討(台所の改善、テーブルの購入、ドラム缶更新を検討する)
- ◎ 自由議題
  - ◆ 区民クリスマスキャロル(12月22日 土)について 当日の会場受付のお手伝い・・・壮年会に2名依頼。当日各教会ごとに出し物(5~10分)をする、中和田教会の案を出してほしい。(森田さん、小谷さん・・・花坂委員長から話をさせていただく) 毎週金曜日に、中和田教会で練習をしている、参加してください(男性が少ない)
  - ◆ 先唱者研修について 女性も含めて、研修の計画を行う。
  - ◆ チーズ工場見学について 旅行計画を作成して、検討する。(作成 福島)

【敬老の日のこと】・小谷さんのお話  
病に倒れ、初めてもう一度、教会のごミサに与りたい、この願いで一杯でした。委員会のご配慮を頂き、送迎の手配までして頂きました、感無量、感謝で一杯でした。  
「2001年9月9日ごミサ後の茶話会、花坂委員長直に、ハーモニカ演奏のご紹介に接し、ほんとうにうれしく、今日、この今、神のお恵み夢のステージに立たして頂いたのだと実感いたしました」。  
曲目 「エドワードエルガー(イギリスの大作曲家) 「愛の挨拶」・・別名「幸せなご挨拶」  
1888年この曲の完成以来、非常に人気の高い作品で、ヴァイオリン、ピアノ、室内オーケストラ、現在英国BBC放送交響楽団の編成でも演奏されます。  
小谷は、ハーモニカ3本(E,G,G#)で、聴いて頂いて、しばらくスコアが涙で見えなくなりました。

婦人会だより

<9月16日(日) 23名出席>

- ◎ 委員会報告 (岩崎)
- ◎ 「区民クリスマス」関連
  - ① 合同聖歌隊の練習が9月7日(金)から始まりました。
  - ② 当日の役割分担: 婦人会は「受付」を担当(2~3名)
- ◎ 「横浜教区一粒会大会」報告  
9月15日の大会には当教会から9名参加しました。参加された方から内容や感想を伺いました。
- ◎ 婦人同志会からのお知らせ
  - ① 黙想会・・・11月29日(木)、指導司祭: 東京教区・岡田大司教様
  - ② 歌舞伎鑑賞会・・・12月6日(木) 参加ご希望の方は予定に入れておいてください。
- ◎ 第五地区福音宣教委員会からの報告 (内藤)
- ◎ 湘南短期キリスト教セミナーの講演内容が決まりました。  
11月24日(土) 晴佐久唱英神父: 「だめな親でもだいじょうぶだよ」  
12月 1日(土) Sr.景山あき子: 「命とむきあって」  
12月 8日(土) 中田武仁氏: 「題・未定」
- ◎ バザー関連
  - ① 自主作品及びバザー一用提供品は9月末日迄に提出下さい。
  - ② 値段つけの作業を10月18日(木)10時から行ないます。できるだけ多数の方のご協力をお願いします。
  - ③ バザー当日の「売り場担当表」を掲示してありますので、ご記入願います。みなさまの積極的ご参加をお願いします。特に若い方のご協力をよろしく。

次回例会は10月21日(日)、次回当番はB地区です。



婦人会による、ある日のバザー一率仕活動風景

広報 **なかわだ**  
第213号

10月の予定

バザー	10月 28日
委員会	10月 7日
壮年会、婦人会	10月 21日
サロン	10月 14日
レジオ	10月 12,19日

2001年 10月号

中和田カトリック教会  
広報委員会発行  
泉区中田北 1丁目 9-1  
Tel. (045) 803-6141  
平成13年 10月 8日



思い出せたこと ④-2

山崎 正俊



新約聖書にさえ、あの姉のマルタと妹のマリアに対する、イエズスさまの態度にも似たような、その話の伝承者の言葉たらずのところが見えると、私には思われます。先日のミサの福音書で、そのところを読むことになっていたもので、困惑していたのです。

ところが好都合なことには、7月のミサでは、説教は、以前に休みにしていたことがあるので、今年もそうしましょう。(この習慣は、前任の主任司祭が、私よりも、エトでひとまわり年上であったのですが、いまの私は病後のことですから、お休みをあげましょうと委員会で決めていたのです。) 私が提案を断わるかもしれないことを気にしながら申し出ていたのです。だから、気軽に承知しておきました。—— ミサでは、福音書をすらすらと読み終わり、すこし間をおきました。車椅子に坐ってミサをおささげしているのだから、場所を移らなくてもよいので、サキヨミの人は、今日から当分の間は説教をお休みにしますからと小さな声で責任を果たし、はっきりとした声で、「お立ちください」と言い、次いで「信仰宣言」と、さきにすすめました。いつものように席に腰をおろしたのに、全員が起立しました。「天地の創造主」と、みごとに続けられ、サキヨミの人は、たぶん、ほっとしたことでしょう。

(どうして、こんなに自然に、ミサはつづき、ミサはそれだけ短くなり、私は、批判めいたことを話さなくてすみませんでした。たしかに、姉さんは、イエズスさまにたしなめられ、妹さんは、反省もしたでしょう。この次には、妹さんもお姉さんも仲良くイエズス様のお話を聞けたでしょう。お姉さんも内心は喜べたはずだと私は思います。妹さんも心おだやかであったはずで、あれで、あの部分のお話は、もっと印象強いものになったでしょう。だから、思いやり深さを『まことの愛』をわからせていただけるものになったでしょう。)

(2001. 7. 25)

月/日	主 日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主 日	朗読、奉納	オルガン
10/ 7	年間第二十七主日	壮年会	岩 淵	11/ 4	年間第三十一主日	壮年会	森 田
10/14	年間第二十八主日	青年会	森 田	11/11	年間第三十一主日	青年会	保 科
10/21	年間第二十九主日	婦人会B地区	保 科	11/18	年間第三十一主日	婦人会C地区	岩 淵
10/28	年間第三十主日	壮年会	岩 淵	11/25	王であるキリスト	壮年会	森 田

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: TEL 802-6258)迄お申し出下さい。

## 濱尾大司教の近況【3】

(文: 横河和夫 撮影: 齋藤康一)

### 3. 戦後の混乱期に自らの道を見いだす (2)

「4人兄弟の末っ子の僕は戦中派の右翼で、神風を信じていました。でも神風は吹かなかった。敗戦でがっくりしましたが、四谷の雙葉学園を出てカトリックになった母の勧めで教会に通い、終戦翌年の12月に世田谷教会で故今田神父の人格に引きつけられて受洗しました」

三年後、神父への召命を感じて東京カトリック大神学校へ。二年後の51年から11年間、ローマのウルバノ大学とグレゴリアン大学で神学を学び、教会法の博士号を取得。62年に帰国した。

「留学当初は、周りは旧敵国の人間ばかりでナショナリズムの対立から喧嘩もしました。しかし彼らに国際性の目を開かされ、だんだん変わりました。お蔭で日本の平和憲法は、本当に摂理的といえるほど恒久平和と共存共栄の思想で貫かれており、21世紀のモデルだと思えるようになりました。これからの時代は力と競争で支配するのではなく、パートナーシップの精神が強く求められています。武器も軍隊も必要ない平和国家としてのアピールを、日本はもっと積極的に展開していきたいと思います」



教皇の別荘を訪れ、経過報告を実施。

### 4. 大聖年は社会正義実現の起点である

教皇ヨハネ・パウロ二世とは、既に四回ほど会った。年に一回は、評議会の活動状況を報告することになっている。

「教皇が今、一番関心を示しているのは20世紀に乗り越えられなかった人種差別、民族排外主義の問題です。二一世紀には何としても乗り越えなければ……と。ローマで見ているとヨーロッパも閉鎖的になる傾向が強い。同じレベルの文化圏だけでヨーロッパ共同体をまとめたがっています。何か問題が起きると、マスコミは移民の人たちのせいにして。そうすると中央アジア、東欧、アフリカ諸国から来た人たちは排除されてしまいます。民族浄化、ナチ、ムツソリーニの台頭を望む極右の人たちが意外に多い。教皇は、そうした動きに歯止めをかけたいと、頭を痛めています」

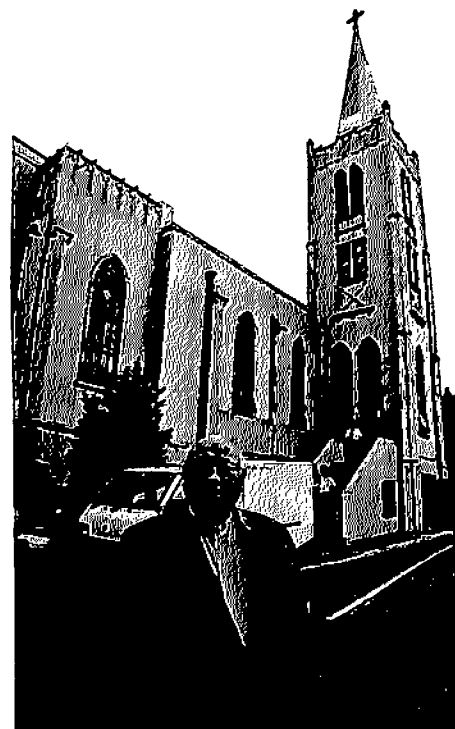
今年はキリストが生誕して二〇〇〇年という記念すべき大聖年である。旧約聖書のレビ記の25章には、「五十年ごとに安息の年とし、牡鹿の角笛(ヨベル)を響かせ、売られた土地は所有者に戻し、奴隷は解放された」と記されている。

これにならって地球上のすべての富を神に返す、つまり社会的、経済的な平等、社会正義の実現を目指す起点とする年と、カトリック教会は位置づけている。

「教皇は二〇〇〇年の大聖年を、社会正義を実現する起点にするため、国際債務の返済免除、死刑廃止、不法滞在者の特赦の三つを先進

諸国に呼びかけています。日本も発展途上国に対する対外債務を帳消しにするなど率先して実行したら、世界の評価は高まるはず」

今春にはコソボ、マケドニアを訪れる予定だ。日本に対する注文も多くなるに違いない。



濱尾さんは18年間、横浜教区長を務めた。その活動の中心となったのが横浜の山手教会。99年8月夏休みで一時的に帰国した際に。

『パチカンで世界の難民・異動者問題の解決に奔走する日本人大司教』として雑誌Agora (JALの広報誌)2000年3月号に掲載された記事を三回に分けて掲載致します。8月号に続き第三回目です。

## 中和田教会のみなさまへ

世界中を揺るがす大きな出来事に心痛む毎日です。

ご無沙汰の毎日ですが、皆様お元気でいらっしゃいますか。

こちらに来訪から早いもので3年が過ぎました。一年目は、新幹線でたった3時間の大阪が、あまりにも関東と違うことが多いことに驚きの毎日でした。主人と二人だけの夕食では、その日の出来事の話で花が咲き、感心したり腹を立てたりしていましたが、今では「大阪ではこうなのだ」と受け入れることができるため、あまり話題にならなくなりました。个性的で楽しい反面、他人をあまり意識せず個人をしっかり出す人も多く、戸惑うことがよくあります。

大阪といえは「食道楽」という言葉を思い浮かべられることと思います。最初デパートの食品売り場では、その活気に圧倒されて立ちすくんでしまいましたし、スーパーマーケットでは食品の種類が豊富で、大阪の人の「食」にかかる意気込みが感じられます。食べ物のお店では値段の割に量が多く、友達に「食べて損をしたと思うようなものを出してはだめ」と聞き、損得のある商人の町大阪らしいと思いました。

少しこちらの教会の様子をお知らせいたします。

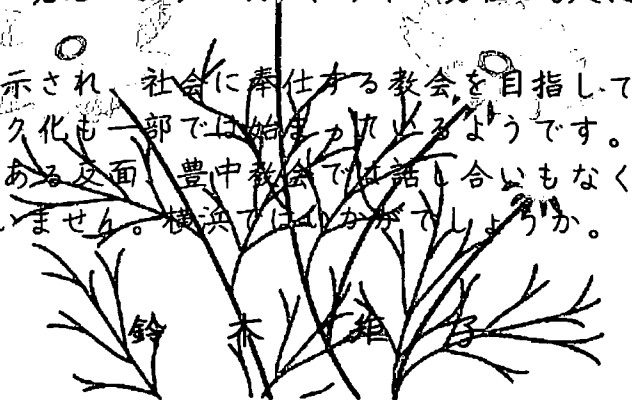
豊中教会の信徒数は1000人程で、日曜日の九時のミサに与る人は200人くらいです。二人の神父様と、今はフィリピンからの神学生が一人います。時々日本語の練習のためお説教の時だけお話をされることありますが、とても分かりやすく、頭の硬くなって来ている私は助かっています。

全体的に見ると確かに高齢化は進んでいると思いますが、若者と子供たちの姿も多く見られることはうれしいことです。

こちらでもミサの後、コーヒー(インスタントです)が用意されます。長い間女性だけでお世話されていたようですが、メンバーが足りないとの事で私に代わって主人が男性で最初に加わって来ました。(中和田で習得した手際よさが生かされているようです)。「ご主人にそのようなことをさせるとは」と、かなりの悪妻に見えたようですが、今年は男性が6人になり、悪妻も6人に増えました。

大阪教区では阪神淡路大震災の後新しい教会像が示され、社会に奉仕する教会を目指して歩み始めています。共同宣教司牧へ向けてのブロック化も一部では始まっています。ミサのお説教の時間を使って熱心に話し合う教会もある反面、豊中教会では話し合いもなくお知らせも少ないため、いまだ皆の理解は深まっていません。横浜ではいかがでしょうか。

季節の変わり目、どうぞ皆様お身体を大切に。



### 委員会だより

<9月2日(日) 9名出席>

【1】財務報告：01年8月度決算報告( )内:01年度年間予算

>特記事項:

- 一般会計：
  - 本部分担金第2回支払 120,000(8月)
  - 本部積立金第2回支払 60,000(8月)
- 信徒会計：
  - 卓球大会準備金支出50,000

	01年8月度決算報告 ( )内:01年度年間予算		
	01°収入累計	01°支出累計	収支差額
一般会計	4,512,243 (6,073,380)	3,300,682 (5,297,000)	1,211,561 (776,380)
建設会計	1,520,570 (1,876,674)	393,000 (1,817,000)	1,127,570 (59,674)
愛の献金	592,138 (617,864)	204,049 (320,000)	388,089 (297,864)
信徒会計	244,657 (744,520)	80,000 (510,000)	164,657 (234,520)